

～ 2014 三大朝市物産まつり ～

当商店街で開催されている“七間朝市”は400年の歴史を誇るもので、本事業では朝市で有名な飛騨高山と北海道函館の協力を得て、三大朝市物産まつりを実施。商店街の認知度を高めることを目的に、大野市の名産品を景品とした「ガラガラ抽選会」と「店先ウィンドウ魅力アップ作戦」を同時開催し、相乗効果による集客力の向上を図った。

所在地：福井県大野市元町3-20
TEL：0779-69-9520 FAX：0779-69-9521
URL：—
組合員数：31名
商店街の類型：地域型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景

福井県大野市のほぼ中央、天空の城で知られる大野城の城下町のメインストリートとして発展してきた商店街。伝統的な町家と石畳といった風情を残しており、呉服店、洋品店等を中心に酒造、飲食店など約30店舗で構成されている地域型商店街である。

近年、地域住民の高齢化による顧客の減少に加え、郊外型ショッピングセンターや全国規模のチェーン店への顧客流出が課題となっており、伝統のある朝市の充実を図り集客力の向上を狙った。

実施した事業の概要

①三大朝市物産まつり2014

400年の伝統を誇る七間朝市は、雪溶けの進む春分の日から大晦日までの毎日、朝7時から11時まで商店街の路上において開催されており、本事業では二日間にわたり七間通りを歩行者天国として、規模を拡大して開催した。

商店街からは名物のいもきんづば、手作りパン、朝市出店者は特産品のさといもなど大野ならではの新鮮な季節野菜が出店されたほか、全国的に朝市で有名な飛騨高山や北海道函館の出店協力を得ることで、飛騨牛、ズワイガニ、いかめし、新巻鮭などが出店され、採れたての秋の山海の幸が揃った。従来は地域限定での告知にとどまっていたが、今回はTVコマーシャル、新聞広告等で広く告知したこともあって認知度が一段と高まった。

②ガラガラ抽選会

三大朝市物産まつりに併せて大規模な抽選会を実施し、集客を図った。景品は大野市の特産品である里芋、こしひかり、醤油等を揃えた。商店街個店及び物産まつりの商品の買い物を抽選対象とし、朝市へ訪れた来街者を個店へ呼び込むことができた。

③店先ウィンドウ魅力アップ作戦

薬局の薬研など老舗が日々使用していた商売道具やお宝を店先に展示し、来場者の目を惹きつけた。普段は裏方で切り盛りしているおかみさんが先頭に立って接客にあたり、販売促進や来場者の回遊に尽力した。



薬研：薬草を粉にする道具

成果と成功の要因



31回目となる物産まつりであるが、TVコマーシャルや新聞への広告掲載による幅広い情報発信を行ったことで県内はもちろんのこと県外からの集客も得られ、過去最高の約30,000名の来場者となった。当日の賑わいの体験者から商店街及び朝市への出店に関する問い合わせも多数あった。

今回の成功には若手・女性の活躍が大きい。若手は事業のマンネリ化に陥らないように新企画「店先ウィンドウ魅力アップ作戦」を着想し、女性陣は来場者を個店へ誘導して店主と来場者のコミュニケーションを促進した。

今後の取り組み

歴史ある朝市はもちろんのこと、季節の恵にスポットを当てた物産まつりを今後も継続する予定。実施に当たっては、若手や女性の意見を積極的に取り入れイベントに反映させること等により、商店街の新たな魅力を引き出すことを考えている。資金については、予算の見直しや参加費、賦課金の徴収などについて検討するほか、行政との連携・支援等の活用等を考えている。